

「住みたくなる・通いたくなる・また戻りたくなる新たなふるさと宇治」実現プロジェクト

宇治市
中宇治エリア

事業の概要・背景

【概要】

○JR・京阪宇治駅周辺の商店街等や歴史公園、産業支援拠点等を含む一帯を「モデルエリア」に位置付け、子育て世代の支援と地域の活性化につながる一体的な取り組みとして「まちのデザインプロモーション」、「見守り・支援体制の構築」、「仕事の場づくり」、「地域資源の磨き上げ」、「起業支援」、「地域コミュニティの再生」など様々な施策のアプローチにより、市内外の人の流れを誘引し、まちの賑わいを創出するとともに、ひと・しごとの好循環の流れを一体的に推進することで、人口減少社会においても持続的に発展するまち（宇治市地方創生モデル）の実現を目指す

【背景】

- 子育て世代を対象としたアンケートでは、小さな子どもにも配慮した店舗・安全な遊び場・移動支援など、外出先での支援ニーズが高い
- 就職をきっかけに転出する割合が最も多く、定住促進に向けて、若い世代の働く場づくりや起業の支援、まちの活性化が必要
- 今後のまちづくりでは、子どもの頃からのふるさとへの愛着醸成や、シビックプライド（市民によるまちへの誇り）の向上が求められている

主な事業

◇：交付対象事業
◆：関連事業

- ◇子育ておうえん環境整備補助金、ワーケーション促進
- ◇空き家等の再生支援事業、まちにわネットワークの形成
- ◇こども未来キャンパス事業、宇治茶ふれあい事業

成果指標

- 子育てにやさしいまち企業等の認証数
- 子育て環境等の満足度（ニーズ調査）
- 市民の定住意向（※アンケート）

令和2年（基準値）

R2／0団体

R1／30.0%

R1／58.8%

令和8年（目標値）

R8／100団体

R9／50.0%

R8／70.0%

モデル性に係る取組（実現性・継続性・創意工夫）

ポイント

エリアマネジメントを基軸とした重層的なパッケージングにより、中宇治の歴史・資源を活かしたまちづくり・ブランド化の推進

- 子育て世代の外出支援とまちの賑わいの創出に向けて、商店街等での授乳室の設置・キッズ用メニューの開発・親子限定割引などのイベントの補助を実施
- エリア内に多く残る伝統的家屋や集会所等のリノベーション促進やICTの利活用による就業の場、新たなコミュニティスペース創出
- まちづくりファンド等との連携による6次産業化、起業支援
- 公・民・学の連携による、まちのデザインプロモーション・魅力発信の強化を通じた、まちの吸引力やシビックプライドの向上

